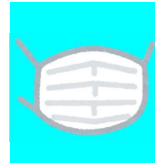


江戸取図書館便り 7月2号



—新着図書紹介—



しょうしょ

「**小暑**」・初候(7月7日)温風至(あつかぜいたる)

・次候(7月12日)蓮始開(はすはじめてひらく)

・末候(7月17日)鷹乃学習(たかすなわちわざをなす)

★科学道100冊のコーナーの『インサイド・ザ・ストーン<石に秘められた造形の世界>』山田英春著を「石の中に入り込むビジュアルブッ

ク」ですねと紹介した時、「**瑪瑙**」ってなんですか？と聞かれました。

※5頁「本書では、二酸化ケイ素＝シリカの結晶である石英の、微小な繊維状結晶が集合したものを玉髄、これに様々な成分が混じり、色や模様のパラエティーが生まれたものを瑪瑙、泥や火山灰などの堆積物に微小な粒子状のシリカが混じって石英質になったものをジャスパーと呼んでいる」

【**瑪瑙**】とは、「縞状構造が明らかな玉髄。主成分は、微小な石英。樹脂光沢があり、往々鉄分など

が滲透して美しい赤褐色・白色などの縞文様を現わす」(広辞苑 第七版) ★アゲート(瑪瑙)

※140頁「石のなかに現れた風景」⇒驚きは、156頁「夕映えのなかに教会(高さ3mm)が見える」



★本をご覧ください

☆ちくま文庫 『シェイクスピア全集 1～31巻』松岡和子訳



☆『ザ・シェイクスピア 全戯曲』シェイクスピア著・坪内逍遙訳

★『シェイクスピア大図鑑』スタンリー・ウェルズ他著・河合祥一郎監訳 ※12頁「ウィリアム・シェイクスピア(1564～1616)は、英語圏で最大の想像力をもつ作家と広く認められている。その作品は、オリジナル・テキストの形でのみならず、世界各国の言葉に翻訳されたりあらゆる形に翻案されたりして、地球上のいたるところで読まれ、教えられ、上演されている。シェイクスピア作品が他の芸術作品に与えた影響は限りなく、教養教育を受けたものならば知らないではすまされない」

☆角川ソフィア文庫 『ビギナーズ・クラシックス 日本の古典』



★『古今和歌集』中島輝賢編 <抜粋> *古文*現代語訳*語釈*解説 ・まずは大まかに！
⇒・岩波文庫(黄)『古今和歌集』佐伯梅友校注 <全文 1,111首> *古文*語釈*解説
⇒・講談社学術文庫『古今和歌集全評釈』片桐洋一著 <全文> *古今和歌集総説 *古文*要旨*通釈*語釈*校異*他出*鑑賞と評論*注釈史*享受史等・上中下三巻(3,022頁)

※小暑は、梅雨が明けて雨が上がると「温風至」夏の到来となる。「蓮始開」赤い蓮の花がキラキラした水面に浮かんでいる。「鷹乃学習」空には巣立ったばかりの鷹が獲物を捕る訓練のイメージ？ 暑い夏の到来となる、「小暑・大暑」の時候に書くハガキを「暑中見舞い」と言います。梅雨明けしたらいかがですか？ (司書)